

## 第4回魅力ある県立学校づくりに向けた懇話会について

### 1 開催日時・場所

令和4年2月1日（火） 14:00～15:50

於：教育委員会室

### 2 出席委員

鳥丸委員，萩野委員，廣瀬委員，前田(晶)委員，山本委員，久永委員，福留委員，岩越委員，前田(光)委員，川島委員

（鳥丸委員，廣瀬委員，山本委員，川島委員はオンライン参加）

（太田委員は欠席）

### 3 議事の主な内容

協議・意見交換

#### ① 入学者の受入に関する方針について

- アドミッション・ポリシーに応じた，それぞれの学校の入試があっても良い。
- 他県の状況もしっかりと研究し，本県の実情に応じた選抜の在り方を検討してもよいのではないか。
- 入試の方法を議論するときは，中学生にどのような影響を与えるのかを考えておくことが必要ではないか。
- 九州各県の入学者選抜は近年変更しているものの，鹿児島県は平成6年から大きく変わっていない。時代に応じて柔軟に入学者選抜の在り方を検討していく必要があるのではないか。
- 鹿児島県の産業界・経済界でも「変える」，「新しいものを手がける」ということは弱い，経営者に聞くと保守性などがあると聞く。良いものは積極的に取り入れ，子ども達の成長を促す努力が必要である。
- 推薦入試を充実することで，中学生が推薦入試の受検も考えることになり，結果として，中学生の受検ができる機会が増えるのは良いことだと思う。入試の在り方としては，総合的な学習の時間の学びの成果の評価など，多面的に評価できるような形がよいのではないか。

- 中学校の現状としては、推薦入試について、対象生徒を校内推薦委員会で十分に審議し、中学校内の推薦基準の要件を満たしている生徒に推薦を出しているの、要件を満たす生徒は、かなり絞られていると思う。
- 中教審答申の「スクール・ミッション及びスクール・ポリシーに基づく教育活動の実施・改善（イメージ）」の図の中では、「中学校長の推薦」による入学者選抜を位置づけるのが難しい。
- 入学者選抜に総合的な学習の時間など生徒の活動を取り入れる際には、中学校における総合的な学習の時間の取組は学校ごとに違うと思うので、その内容よりも、どのような資質・能力を育んだのかということに評価の焦点は置かれるべきだと思う。
- 5教科をバランス良くできる子どもを育てることも大事だが、個性や特徴を生かすなど「一芸に秀でた」子どもの育成を目指すことも必要ではないか。
- 平均的で同じような人ばかりを多く社会に送り出しても、変化の激しい新しい時代に対応できるのか疑問がある。
- 画一的な入学者選抜で、平均的で同じようなことができる子を増やすよりも、各高校が定めるスクール・ポリシーにそって入学者選抜を実施することで、子ども達の学ぶ意欲を評価する入試にしてほしい。
- 入試制度などを見直すときには、入ってほしい生徒を示したアドミッション・ポリシーだけではなく、グラデュエーション・ポリシーやカリキュラム・ポリシーもセットで考えていく必要がある。
- いろんな入試制度があっても良いが、闇雲にやっても長続きしない。教育的見地をもって、制度を設計する必要がある。

## ② 定時制・通信制課程について

- 不登校や不登校傾向などの中学生にとっては、定時制・通信制高校は高校の学びの最後の砦である。そのような生徒にとっては、学びなおしができる科目があるのは、ありがたい。
- 通信制が生徒の受皿になっているということが分かった。定時制高校の生徒の減少傾向を見ると、ニーズがどの程度あるのかを考えないとい

けない。

- 入試を多様化していくと、多様な生徒が入学することになることから、定時制・通信制課程だけを受皿にするのではなく、どの学校でもサポート体制を整えることが必要である。
- 不登校生徒の理由は様々であるが、定時制課程のように家から学校に行き、対面の学びを受けることができる機会があることは貴重である。定時制課程が「居場所」であるだけでなく、さらに生徒に「自分の出番がある」という部分まで提供できたらよいのではないか。
- 定時制課程のニーズは少ないかもしれないが、学びの機会を保障することは重要であり、ニーズだけで議論を急ぐ必要があるものではないと考えられる。
- 通信制に入学してくる生徒を、どのように育て社会に出していくかが大事であり、ただ在籍させるだけでなく、出口対策を充実させることが必要である。
- 定時制や通信制の学校に一定のニーズがある以上は、子ども達のためになる仕組みとして求められると考えられることから、教育内容の充実に努めてほしい。

### ③ とりまとめ（イメージ）について

- 各項目について、語尾をそろえるなど、統一的な記述にしてもらいたい。
- ICT活用については、「1人1台」の環境があって、その後に「遠隔授業」が今の時代の流れである。
- ICTの「1人1台」については、大学入試との関係などもあるので、「配備を検討する」という意見を載せてもらいたい。
- 入学者選抜の話題でも出てきたが、様々な改革について「スピーディーに進めてほしい」という文言を入れたい。